

第50回 景気動向レポート

2024年4～6月期

○概要

調査時期 令和6年6月上旬

調査地域 平塚市、厚木市、相模原市、大和市、
伊勢原市、秦野市、座間市、
海老名市、茅ヶ崎市、高座郡、愛甲郡

全調査先 当金庫取引先 3 1 9 先

回答先数 当金庫取引先 3 1 6 先

(内訳) 製造業：62先

卸売業：19先

小売業：46先

サービス業：75先

建設業：85先

不動産業：29先

回答率 99.1%

○調査方法

当金庫職員による面接聞き取り方式、または、調査先による直接記入・回収方式

○分析方法

D I (Diffusion Index)

DIとは、各質問項目に対して「良い（増加・上昇）」と回答された企業の割合から「悪い（減少・下降）」と回答された企業の割合を差引いて算出した指標です。

D I がプラスであれば上向き、0であれば現状維持、マイナスであれば下向きというように判断できます。

業況D I の推移（業種別D I 天気図）

	2023年 4-6月期	2023年 7-9月期	2023年 10-12月期	2024年 1-3月期 (前期)	2024年 4-6月期 (当期)	2024年 7-9月期 (予想)
製造業	↓ ☁	→ ☁	↑ ☁	↓ ☁	↑ ☁	↑ ☁
卸売業	↓ ☁	↑ ☁	↑ ☁	↓ ☁	↑ ☁	↓ ☁
小売業	↑ ☁	↓ ☁	→ ☁	↑ ☁	↓ ☁	↑ ☁
サービス業	↑ ☁	↓ ☁	↑ ☁	↑ ☁	↓ ☁	↑ ☀
建設業	↓ ☁	↓ ☁	↑ ☁	↑ ☁	↓ ☁	↓ ☁
不動産業	↓ ☁	↑ ☁	↓ ☁	↑ ☁	↓ ☁	→ ☁
全業種	↑ ☁	↑ ☁	↑ ☁	↓ ☁	↓ ☁	↑ ☁

低調         好調

TR*ibank* Hiratsuka

平塚信用金庫

全業種

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I 共に改善の見込み

2024年4～6月期の当金庫営業地区内における業況DIは、対前期比▲5.1ポイントの1.9と悪化。製造業・卸売業が改善、小売業・サービス業・建設業・不動産業が悪化となりました。

売上DIについては、対前期比▲3.2ポイントの6.3となり、収益DIは対前期比▲1.9ポイントの0.0となりました。

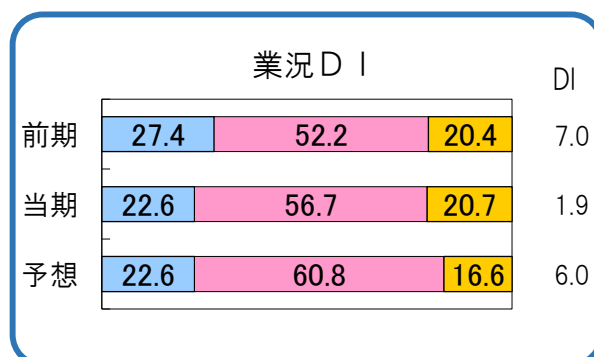
その他のDIでは、販売・料金・請負価格DIは対前期比▲4.8ポイントの19.4となり3期ぶりの低下、仕入・原材料・材料価格DIは対前期比+1.4ポイントの50.3、資金繰りDIは対前期比+0.4ポイントの▲2.8の上昇となりました。

来期（2024年7～9月期）の業況予想では、製造業・小売業・サービス業で改善、不動産業で横這い、卸売業・建設業で悪化を予想しており、全業種総合業況DIは、対当期比+4.1ポイントの6.0と改善を見込んでいます。

主要D I 構成

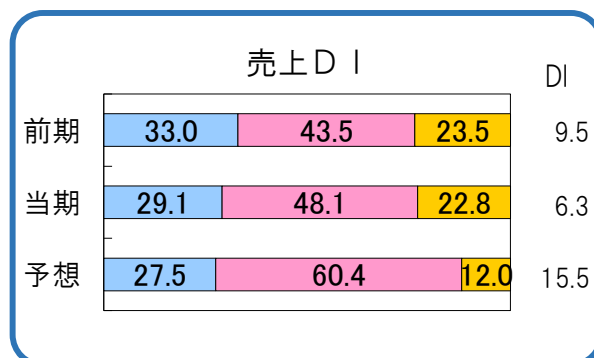
○業況D I

業況DIは、対前期比▲5.1ポイントの1.9(前年同期▲0.6・前回予想との差▲3.2)の悪化となりました。今後の業況DIは、製造業・小売業・サービス業で改善、不動産業で横這い、卸売業・建設業で悪化を予想しており、対当期比+4.1ポイントの6.0と改善を見込んでいます。



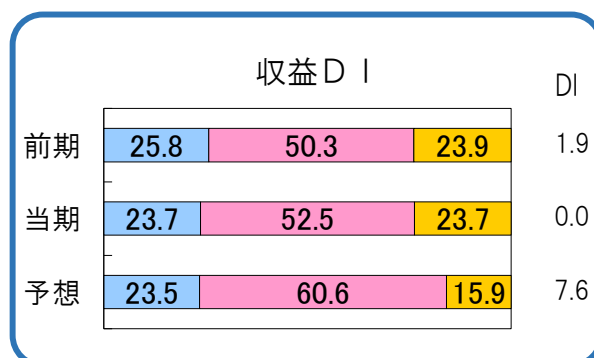
○売上D I

売上DIは、対前期比▲3.2ポイントの6.3（前年同期6.6・前回予想との差▲6.7)の悪化となりました。今後の売上DIは、対当期比+9.2ポイントの15.5と改善を見込んでいます。

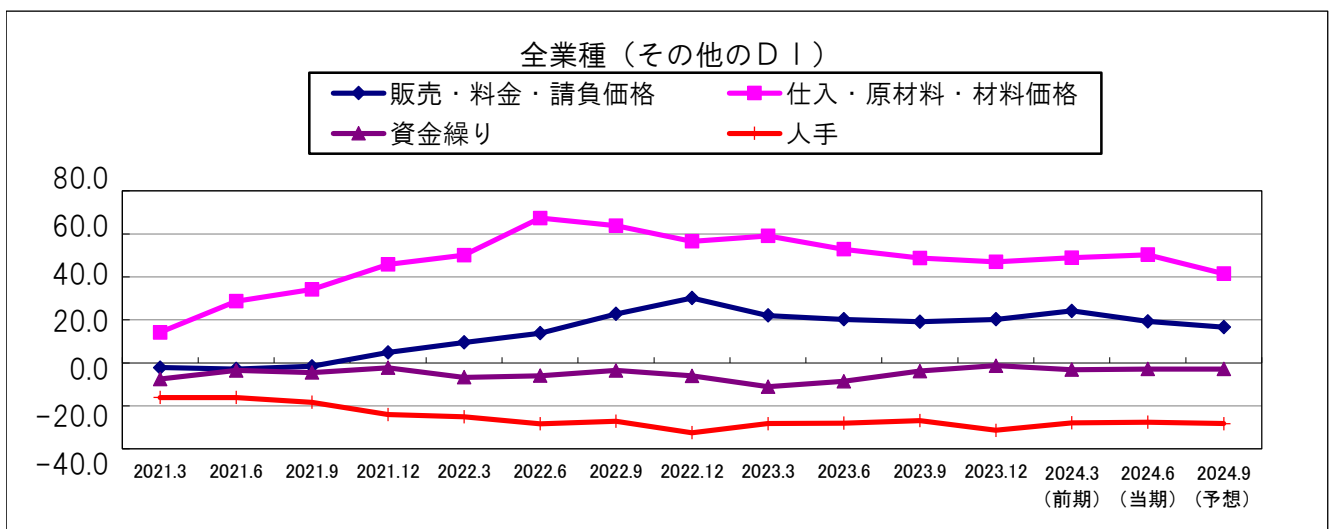
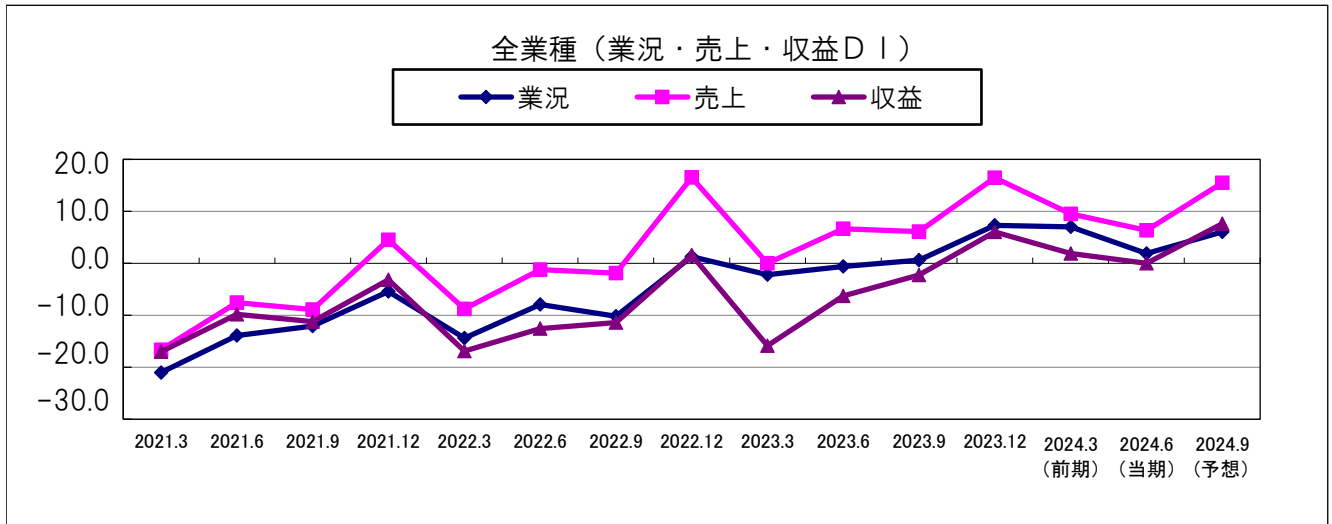


○収益D I

収益DIは、対前期比▲1.9ポイントの0.0(前年同期▲6.3・前回予想との差▲7.3)の悪化となりました。今後の収益DIは、対当期比+7.6ポイントの7.6と改善を見込んでいます。



D I の推移



経 営 サ ポ ー ト セ ン タ ー N E W S

経営者・創業希望者の皆様へ
課題解決のサポートをさせていただきます！！



◎主なサポートメニュー

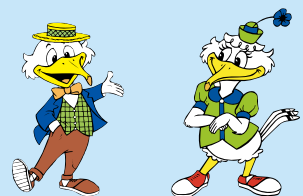
- | | |
|-------|------|
| 創業支援 | 販路拡大 |
| M & A | 事業承継 |
| I C T | 補助金等 |

◎課題解決に関するお問い合わせは

〒254-0043 平塚市紅谷町11-19
平塚信用金庫 営業統括部 経営サポートセンター
Tel : 0463-24-3031

TRi**bank** Hiratsuka
平塚信用金庫

<https://www.shinkin.co.jp/hiratsuka/>

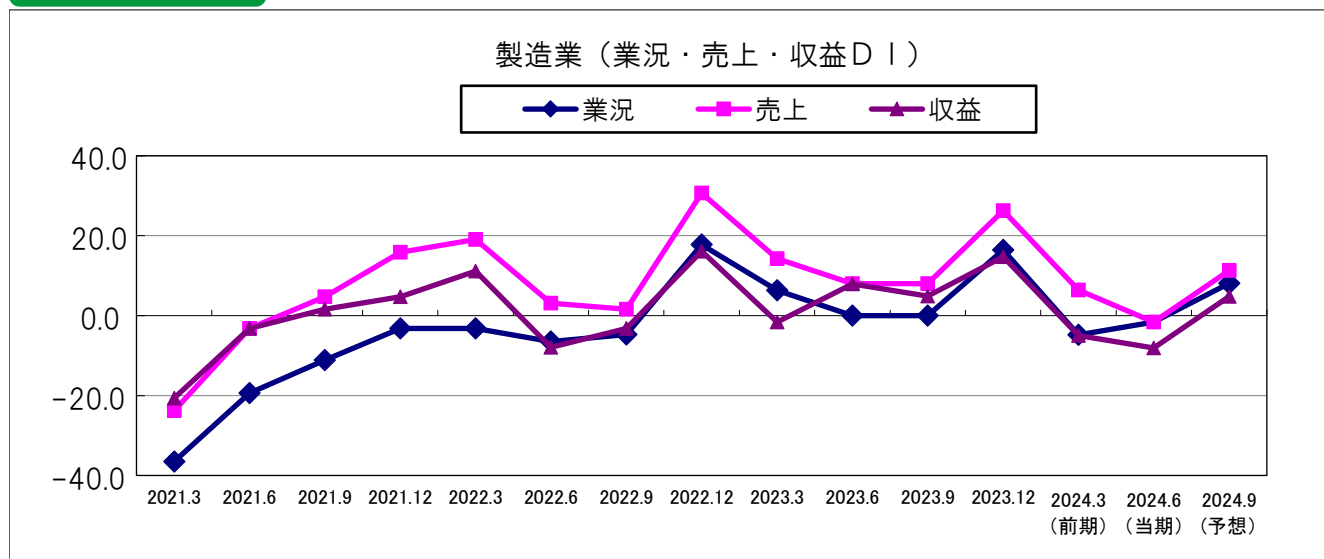


経営サポートセンターでは、
多くの専門家や外部機関と連
携して、お客さまの課題解決
に取り組んでいます。
お困りごとは、是非ひらしん
まで。お客さまと共に課題解
決のサポートをさせていただきます！

製造業

今期：業況DIは改善、売上・収益DIは悪化
来期：業況・売上・収益DI共に改善の見込み

主要DI推移

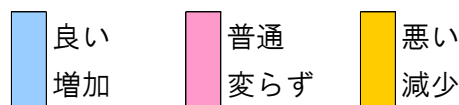


主要DI構成

○業況DI



業況DIは、対前期比+3.2ポイントの▲1.6(前年同期0.0・前回予想との差▲9.6)の改善となりました。今後の業況DIについては、対当期比+9.7ポイントの8.1と改善を見込んでいます。



業況DI

	DI			
前期	25.8	43.5	30.6	▲4.8
当期	19.4	59.7	21.0	▲1.6
予想	22.6	62.9	14.5	8.1

○売上DI



売上DIは、対前期比▲8.0ポイントの▲1.6(前年同期8.0・前回予想との差▲19.4)の悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+12.9ポイントの11.3と大幅な改善を見込んでいます。

売上DI

	DI			
前期	30.6	45.2	24.2	6.4
当期	19.4	59.7	21.0	▲1.6
予想	22.6	66.1	11.3	11.3

○収益DI

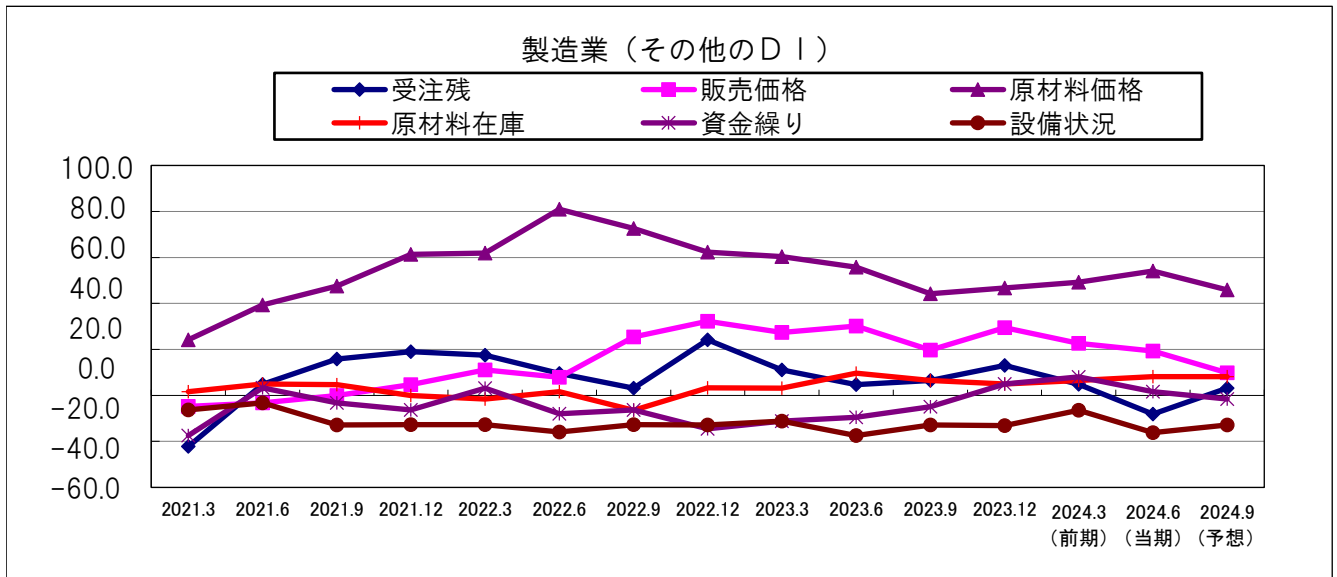


収益DIは、対前期比▲3.1ポイントの▲8.1(前年同期7.9・前回予想との差▲19.4)の悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+12.9ポイントの4.8と大幅な改善を見込んでいます。

収益DI

	DI			
前期	18.0	59.0	23.0	▲5.0
当期	12.9	66.1	21.0	▲8.1
予想	17.7	69.4	12.9	4.8

その他のD I 推移

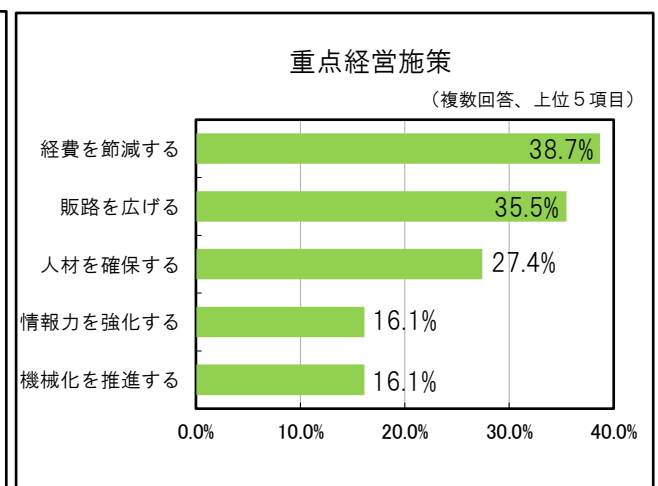
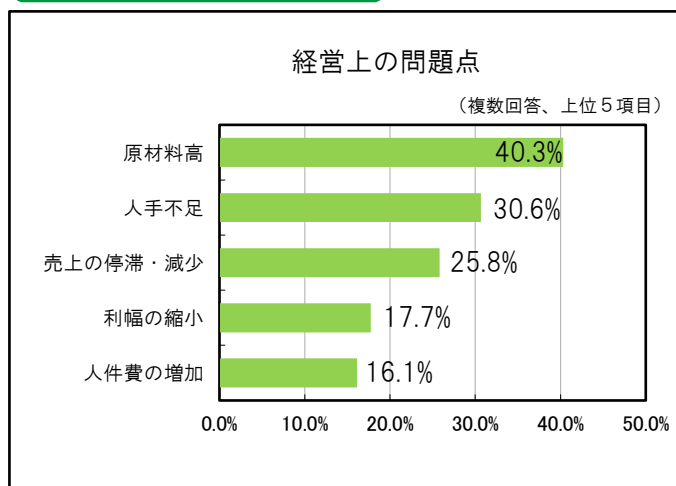


○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは▲12.9ポイントの▲8.1、販売価格DIは▲3.2ポイントの19.4、原材料価格DIは+4.9ポイントの54.1、原材料在庫DIは+1.6ポイントの8.2、資金繰りDIは▲6.5ポイントの1.6、設備状況DIは▲9.6ポイントの▲16.1となりました。

今後は、受注残DI・設備状況DIは上昇、原材料在庫DI・資金繰りDIは横這い、販売価格DI・原材料価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「原材料高」が40.3%と最も多く、次いで「人手不足」30.6%、「売上の停滞・減少」25.8%、「利幅の縮小」17.7%、「人件費の増加」16.1%となりました。

【重点施策】

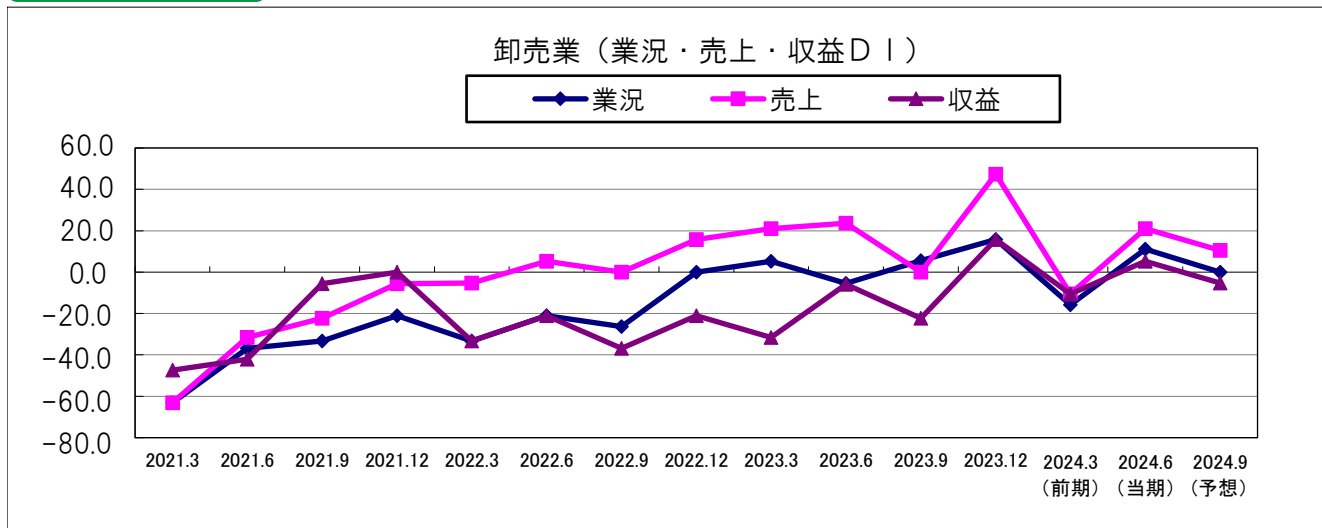
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が38.7%と最も多く、次いで「販路を広げる」35.5%、「人材を確保する」27.4%、「情報力を強化する」「機械化を推進する」が共に16.1%となりました。

卸売業

今期：業況・売上・収益D I 共に改善

来期：業況・売上・収益D I 共に悪化の見込み

主要D I 推移

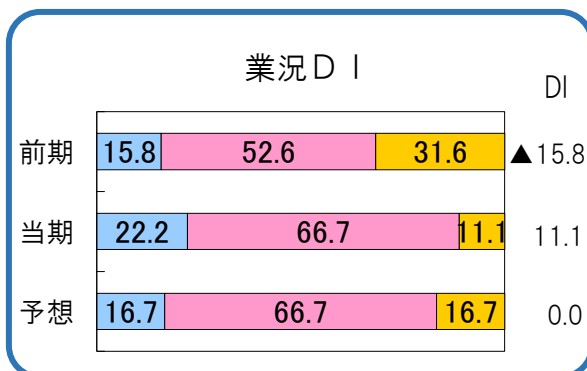


主要D I 構成

○業況D I



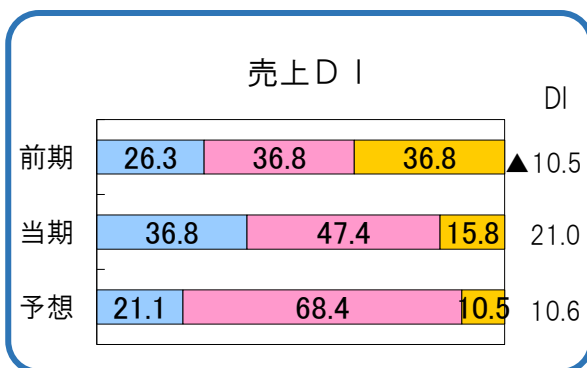
業況D Iは、対前期比+26.9ポイントの11.1(前年同期▲5.5・前回予想との差+5.8)と大幅な改善となりました。今後の業況D Iについては、対当期比▲11.1ポイントの0.0と大幅な悪化を見込んでいます



○売上D I



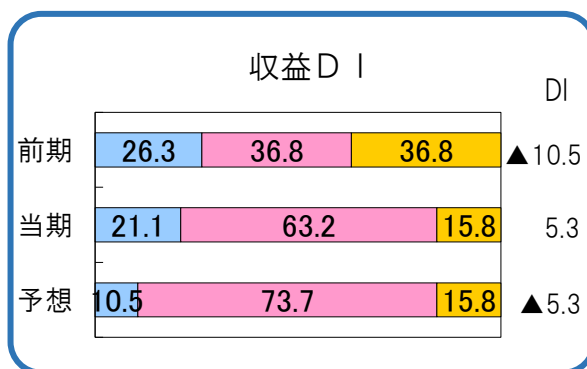
売上D Iは、対前期比+31.5ポイントの21.0(前年同期23.6・前回予想との差▲5.3)と大幅な改善となりました。今後の売上D Iについては、対当期比▲10.4ポイントの10.6と大幅な悪化を見込んでいます。



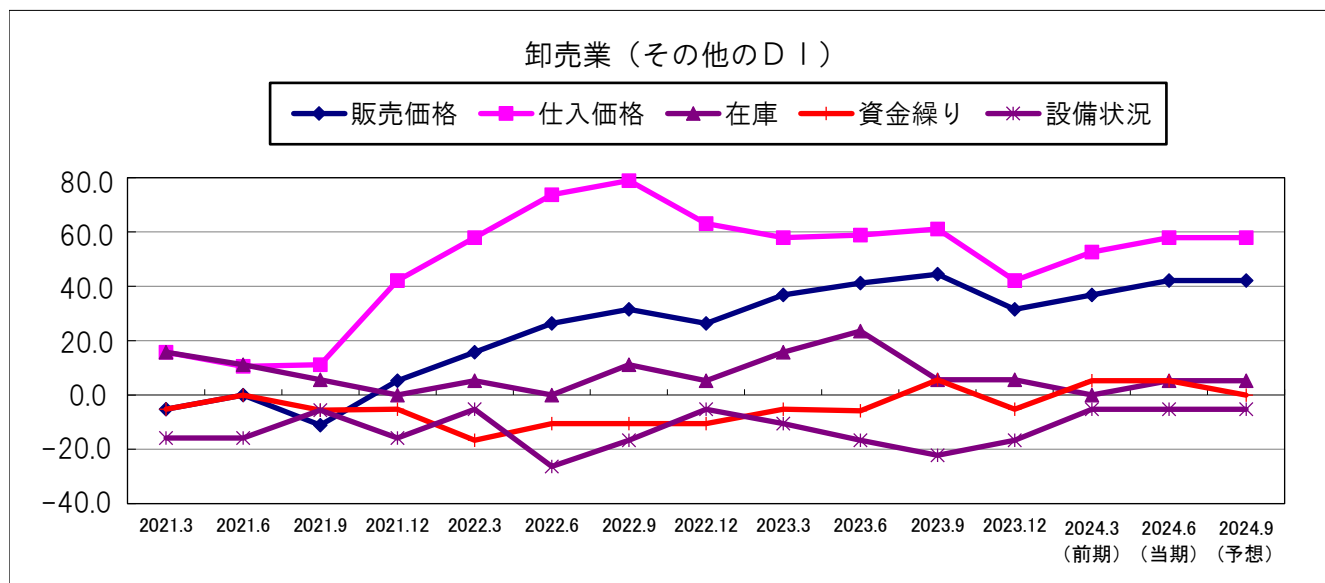
○収益D I



収益D Iは、対前期比+15.8ポイントの5.3(前年同期▲5.9・前回予想との差▲21.0)と大幅な改善となりました。今後の収益D Iについては、対当期比▲10.6ポイントの▲5.3と大幅な悪化を見込んでいます。



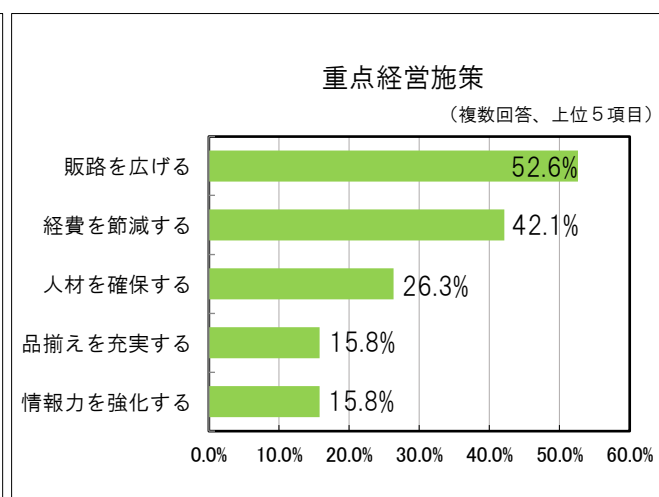
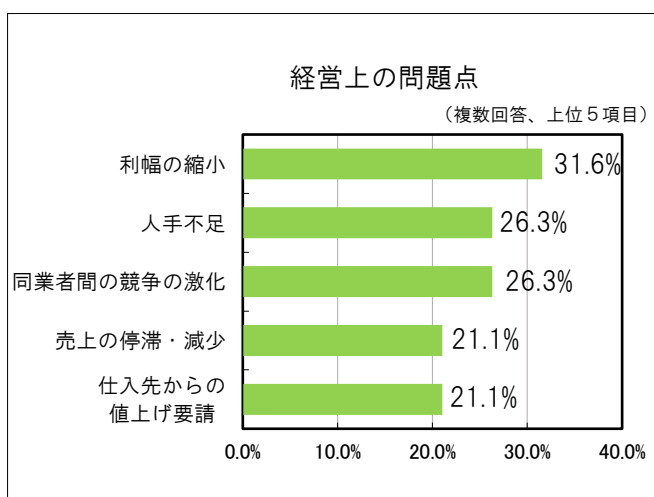
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは+5.3ポイントの42.1、仕入価格DIは+5.3ポイントの57.9、在庫DIは+5.3ポイントの5.3、資金繰りDIは±0.0ポイントの5.3、設備状況DIは±0.0ポイントの▲5.3となりました。今後は、販売価格DI・仕入れ価格DI・在庫DI・設備状況DIは横這い、資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「利幅の縮小」が31.6%と最も多く、次いで「人手不足」「同業者間の競争の激化」が共に26.3%、「売上の停滞・減少」「仕入先からの値上げ要請」が共に21.1%となりました。

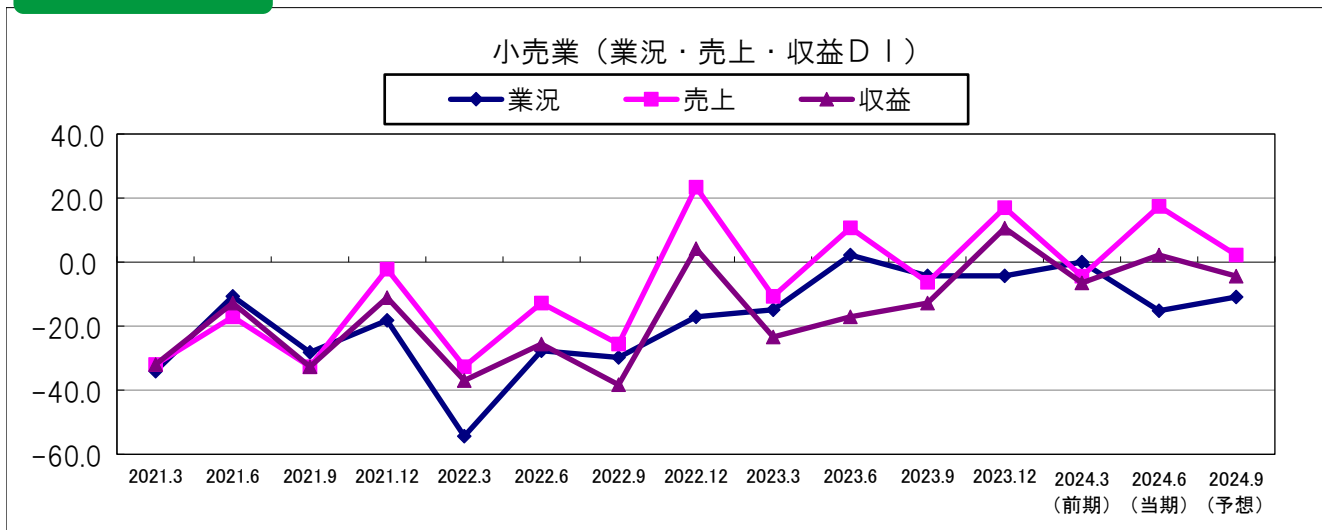
【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「販路を広げる」が52.6%と最も多く、次いで「経費を節減する」42.1%、「人材を確保する」26.3%、「品揃えを充実する」「情報力を強化する」が共に15.8%となりました。

小売業

今期：売上・収益DIは改善、業況DIは悪化
来期：業況DIは改善、売上・収益DIは悪化の見込み

主要DI推移



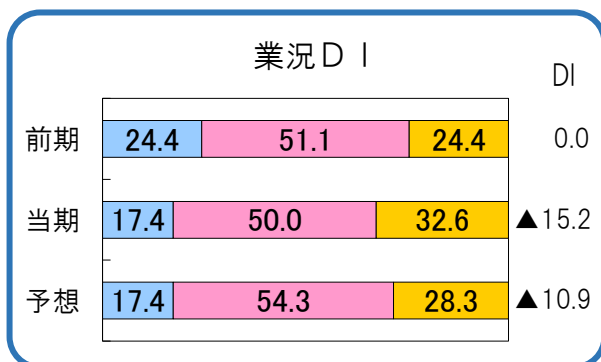
主要DI構成

良い 増加 普通 変らず 悪い 減少

○業況DI



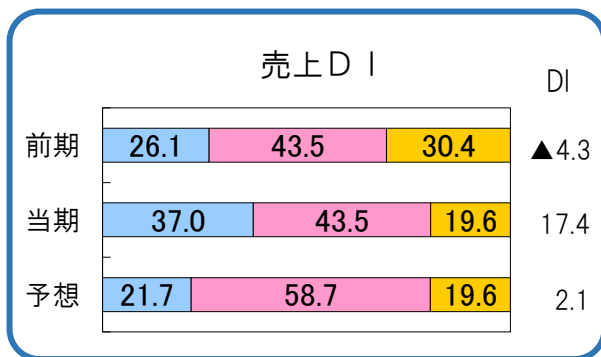
業況DIは、対前期比▲15.2ポイントの▲15.2(前年同期2.2・前回予想との差▲10.8)と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+4.3ポイントの▲10.9と改善を見込んでいます。



○売上DI



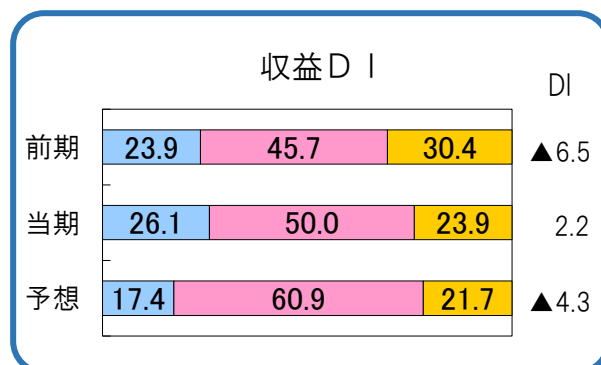
売上DIは、対前期+21.7ポイントの17.4(前年同期10.7・前回予想との差±0.0)と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比▲15.3ポイントの2.1と大幅な悪化を見込んでいます。



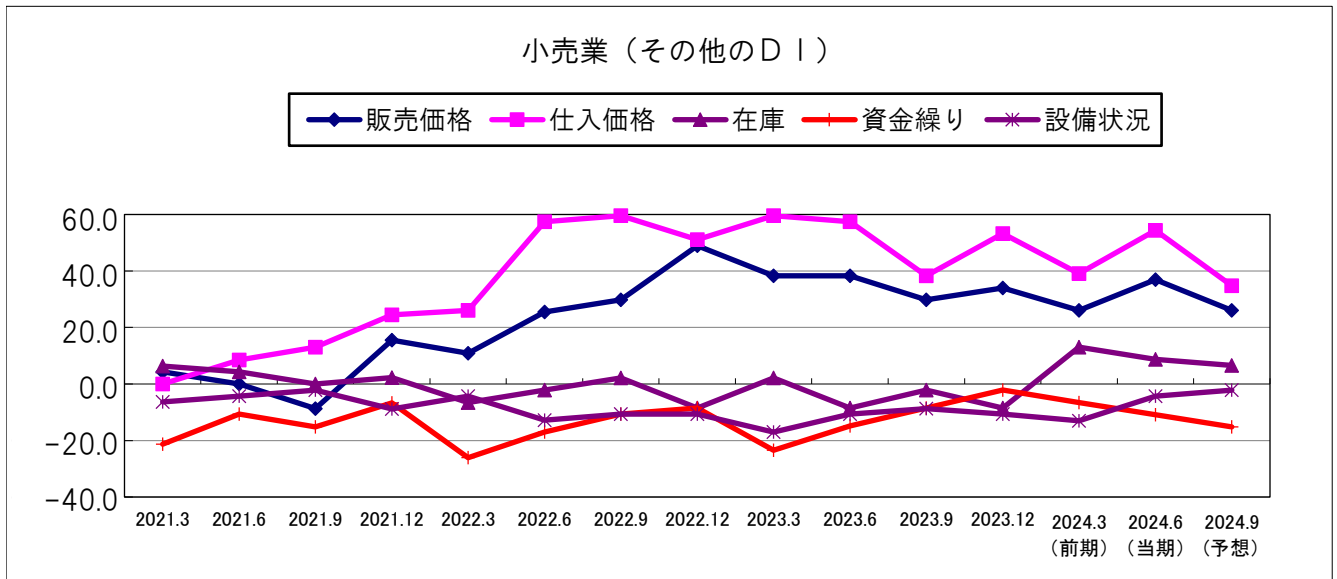
○収益DI



収益DIは、対前期比+8.7ポイントの2.2(前年同期▲17.1・前回予想との差▲8.7)の改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲6.5ポイントの▲4.3と悪化を見込んでいます。



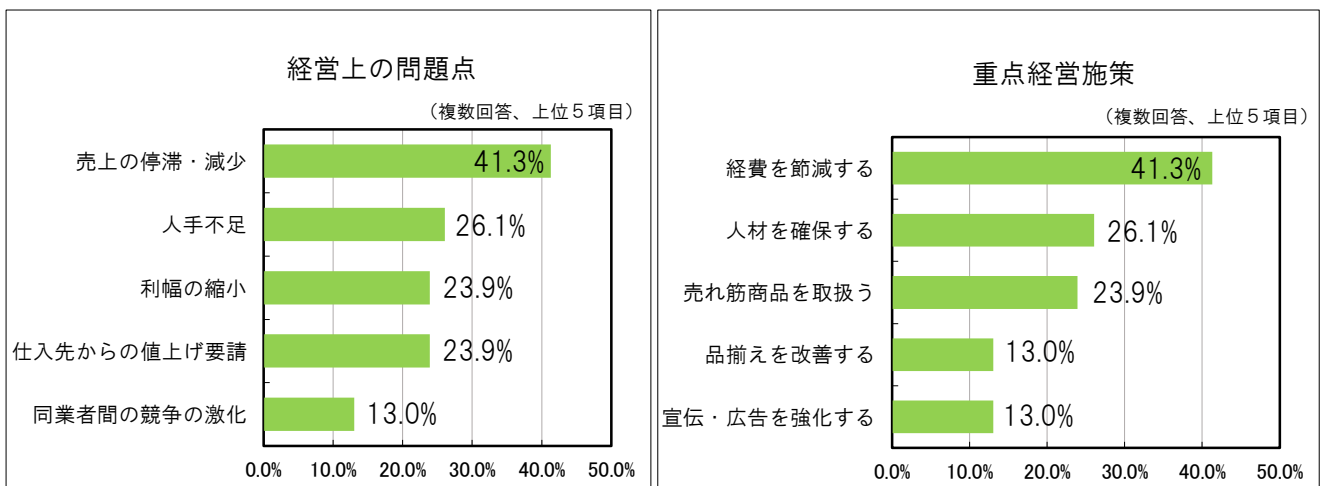
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは+10.9ポイントの37.0、仕入価格DIは+15.2ポイントの54.3、在庫DIは▲4.3ポイントの8.7、資金繰りDIは▲4.4ポイントの▲10.9、設備状況DIは+8.7ポイントの▲4.3となりました。今後は、設備状況DIは上昇、販売価格DI・仕入価格DI・在庫DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「売上の停滞・減少」が41.3%と最も多く、次いで「人手不足」26.1%、「利幅の縮小」「仕入先からの値上げ要請」23.9%、「同業者間の競争の激化」が13.0%となりました。

【重点施策】

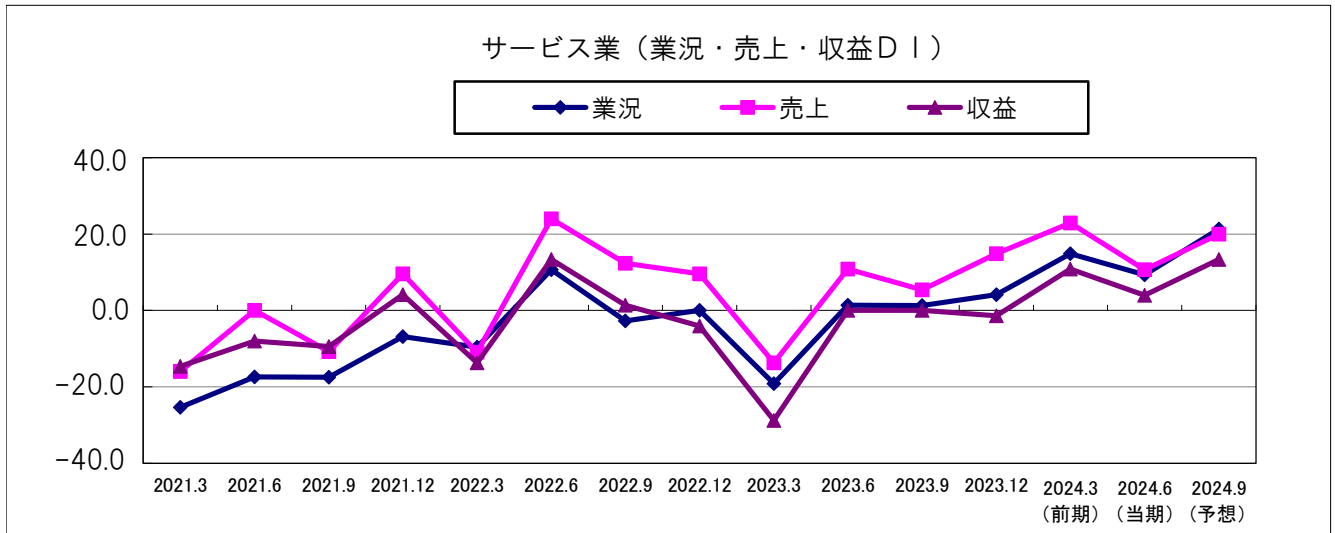
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が41.3%と最も多く、次いで「人材を確保する」26.1%、「売れ筋商品を取扱う」23.9%、「品揃えを改善する」「宣伝・広告を強化する」が共に13.0%となりました。

サービス業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：業況・売上・収益D I は改善の見込み

主要D I 推移



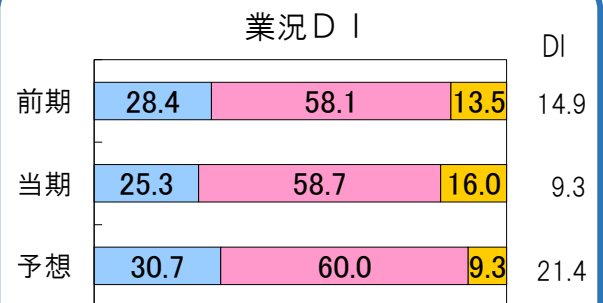
主要D I 構成

○業況D I



業況DIは、対前期比▲5.6ポイントの9.3(前年同期1.4・前回予想との差▲3.0)と3期ぶりの悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比+12.1ポイントの21.4と大幅な改善を見込んでいます。

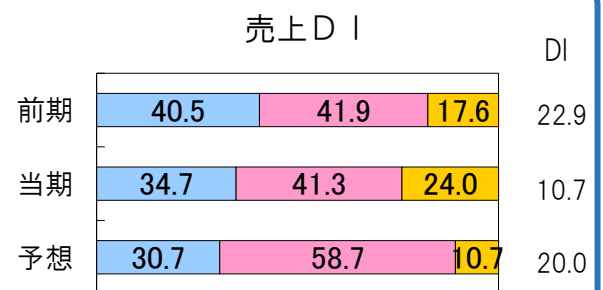
良い 増加 普通 変らず 悪い 減少



○売上D I



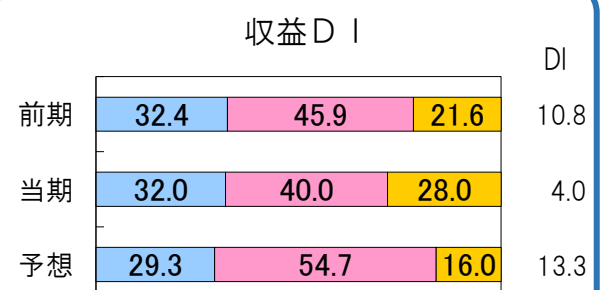
売上DIは、対前期比▲12.2ポイントの10.7(前年同期10.8・前回予想との差▲8.2)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+9.3ポイントの20.0と改善を見込んでいます。



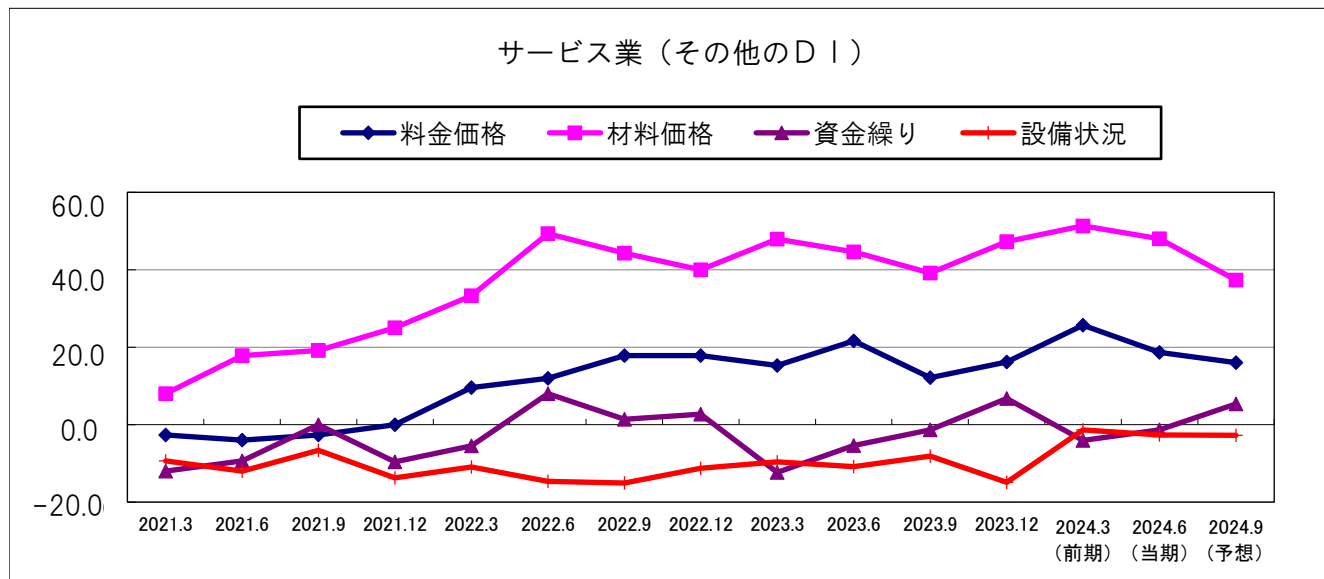
○収益D I



収益DIは、対前期比▲6.8ポイントの4.0(前年同期0.0・前回予想との差▲6.8)の悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+9.3ポイントの13.3と改善を見込んでいます。



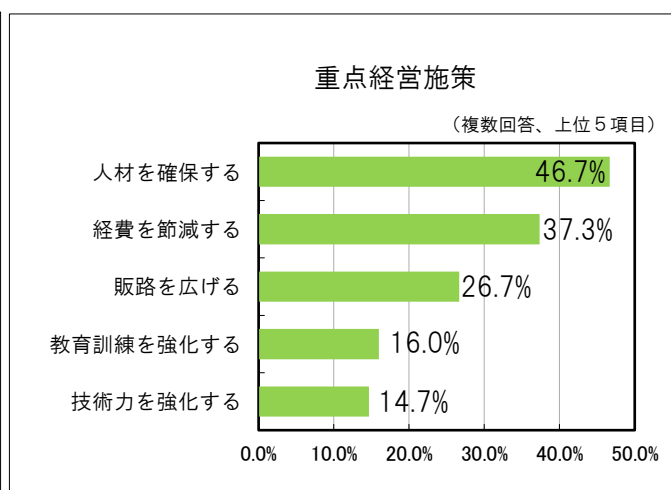
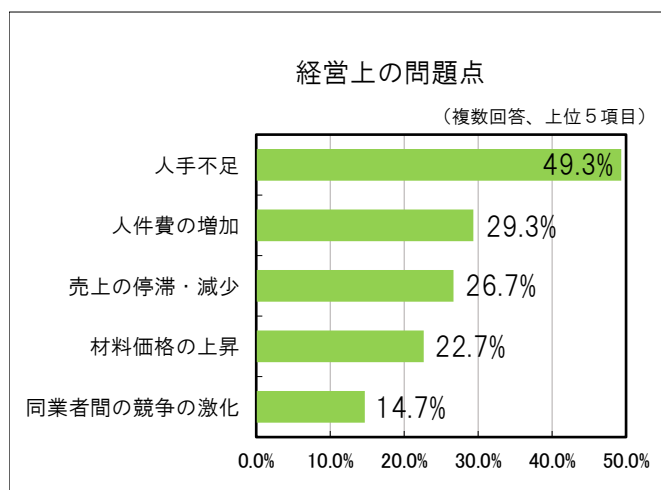
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、料金価格DIは▲7.0ポイントの18.7、材料価格DIは▲3.4ポイントの48.0、資金繰りDIは+2.8ポイントの▲1.3、設備状況DIは▲1.3ポイントの▲2.7となりました。今後は、資金繰りDIは上昇、設備状況DIは横這い、料金価格DI・材料価格DIで低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「人手不足」が49.3%と最も多く、次いで「人件費の増加」が29.3%、「売上の停滞・減少」26.7%、「材料価格の上昇」が22.7%、「同業者間の競争の激化」が14.7%となりました。

【重点施策】

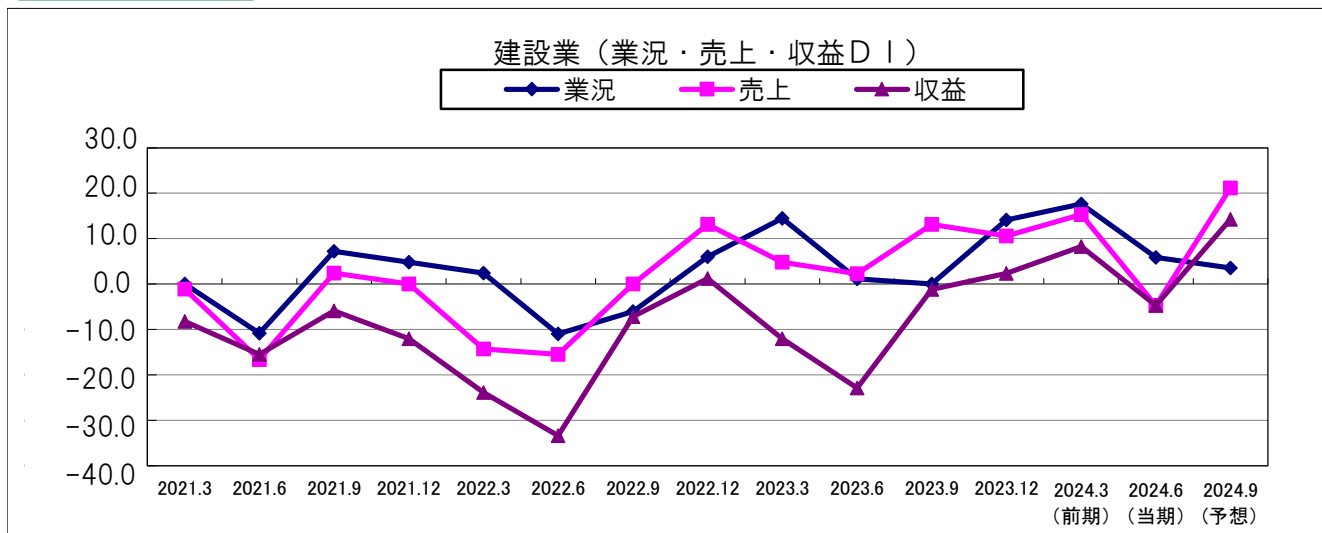
当面の重点経営施策として挙げられたのは「人材を確保する」が46.7%と最も多く、次いで「経費を節減する」が37.3%、「販路を広げる」26.7%、「教育訓練を強化する」16.0%、「技術力を強化する」14.7%となりました。

建設業

今期：業況・売上・収益D I 共に悪化

来期：売上・収益D I は改善、業況D I は悪化の見込み

主要D I 推移

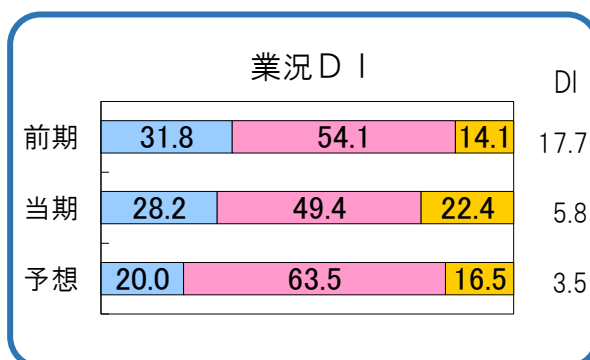
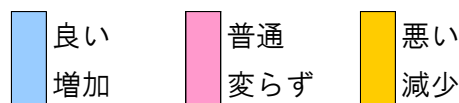


主要D I 構成

○業況D I



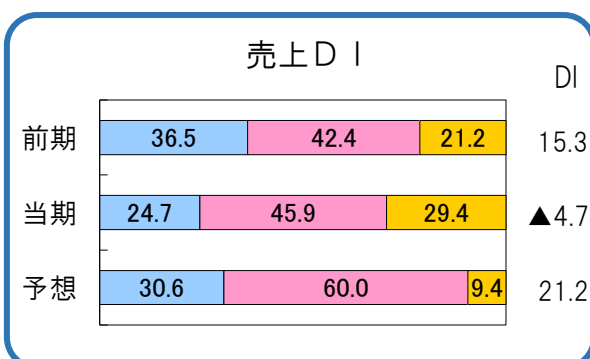
業況DIは、対前期比▲11.9ポイントの5.8(前年同期1.2・前回予想との差+2.2)と大幅な悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比▲2.3ポイントの3.5と悪化を見込んでいます。



○売上D I



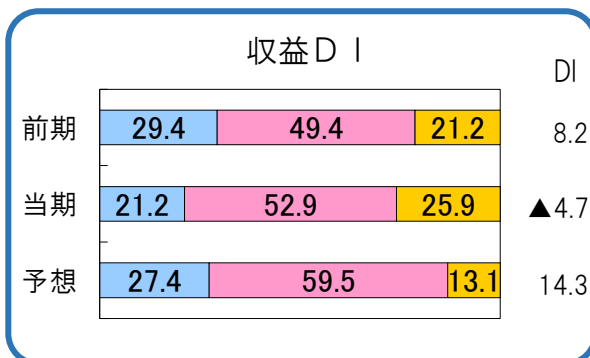
売上DIは、対前期比▲20.0ポイントの▲4.7(前年同期2.3・前回予想との差▲4.7)と大幅な悪化となりました。今後の売上DIについては、対当期比+25.9ポイントの21.2と大幅な改善を見込んでいます。



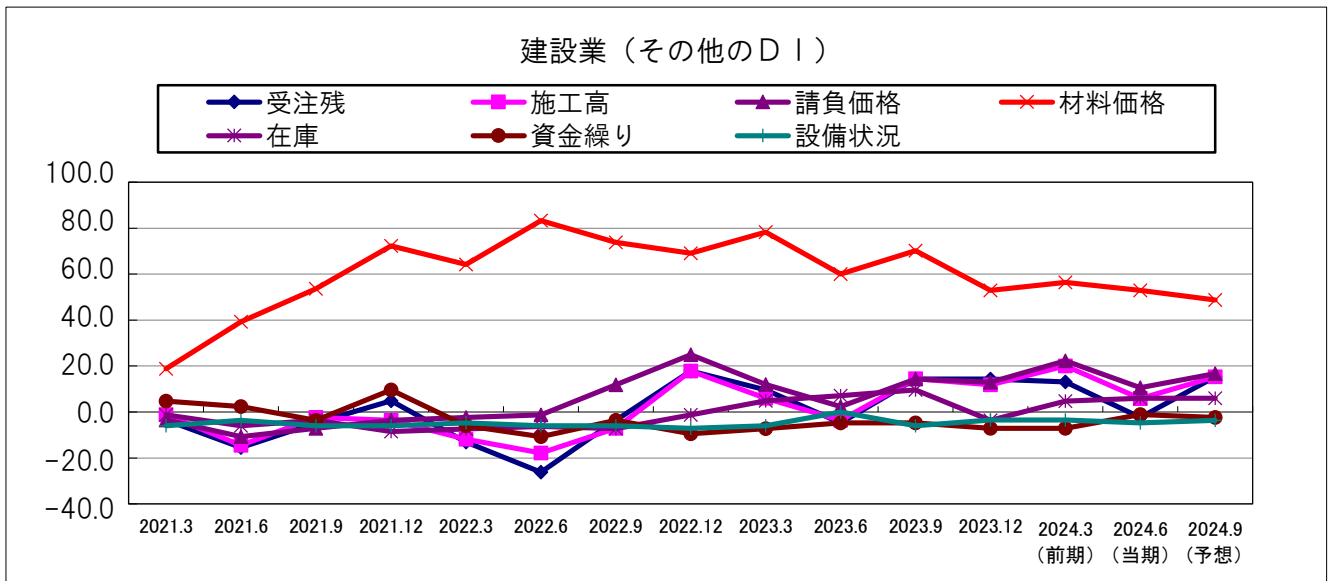
○収益D I



収益DIは、対前期比の▲12.9ポイントの▲4.7(前年同期▲22.9・前回予想との差▲2.3)と大幅な悪化となりました。今後の収益DIについては、対当期比+19.0ポイントの14.3と大幅な改善を見込んでいます。



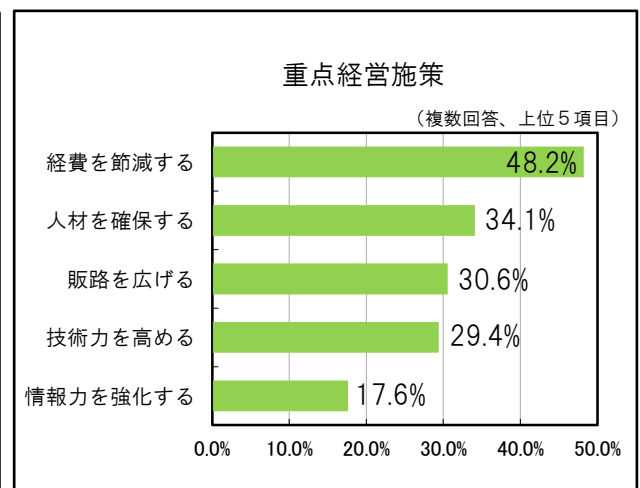
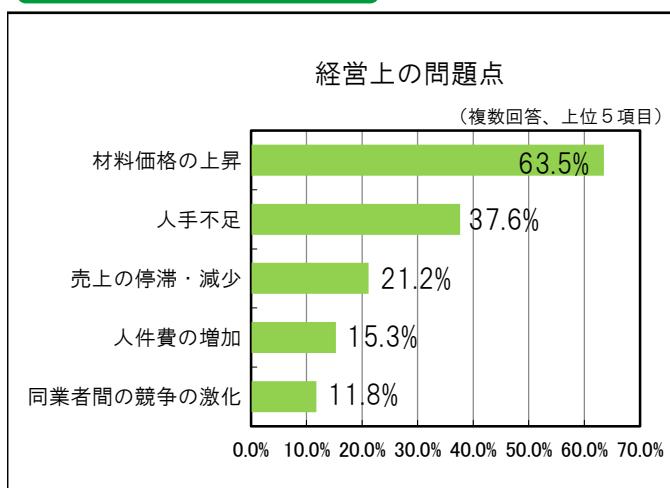
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、受注残DIは▲15.5ポイントの▲2.4、施工高DIは▲14.1ポイントの5.9、請負価格DIは▲11.8ポイントの10.6、材料価格DIは▲3.6ポイントの52.9、在庫DIは+1.3ポイントの6.0、資金繰りDIは+5.9ポイントの▲1.2、設備状況DIは▲1.3ポイントの▲4.8となりました。今後は、受注残DI、施工高DI、請負価格DI、設備状況DIは上昇、在庫DIは横這い、材料価格DI・資金繰りDIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「材料価格の上昇」が63.5%と最も多く、次いで「人手不足」37.6%、「売上の停滞・減少」21.2%、「人件費の増加」15.3%、「同業者間の競争の激化」11.8%となりました。

【重点施策】

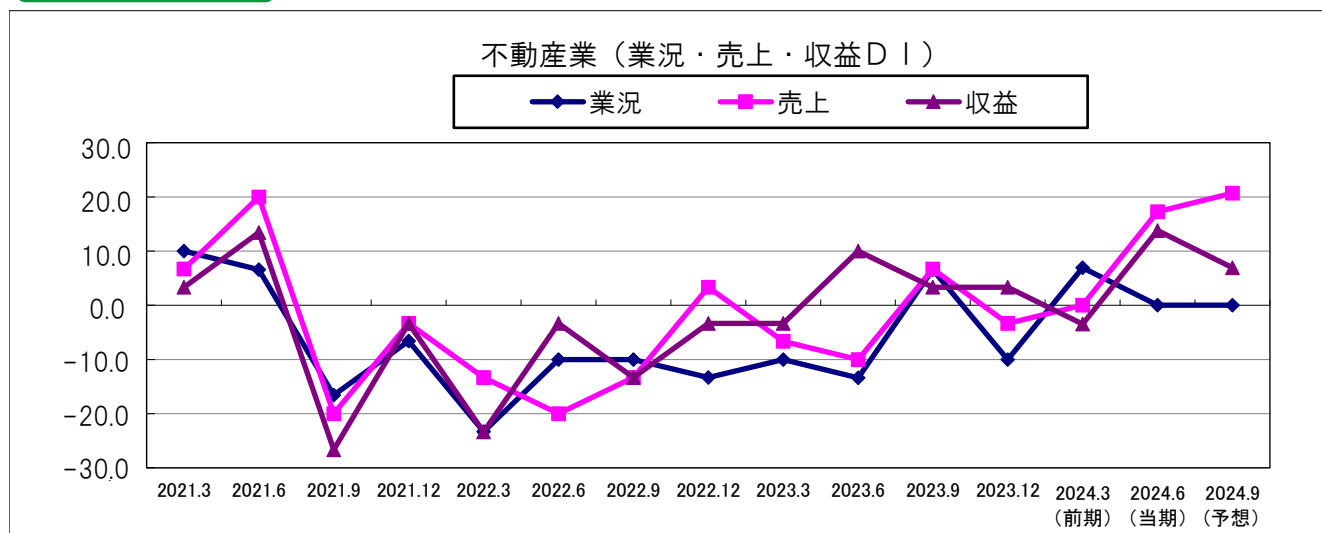
当面の重点経営施策として挙げられたのは「経費を節減する」が48.2%と最も多く、次いで「人材を確保する」34.1%、「販路を広げる」30.6%、「技術力を高める」29.4%、「情報力を強化する」17.6%となりました。

不動産業

今期：売上・収益DIは改善、業況DIは悪化

来期：売上DIは改善、業況DIは横這い、収益DIは悪化の見込み

主要DI推移

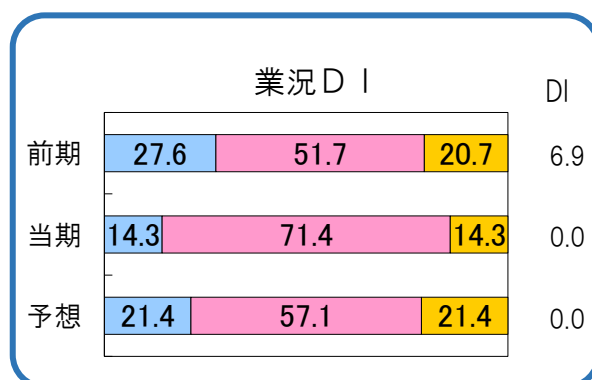
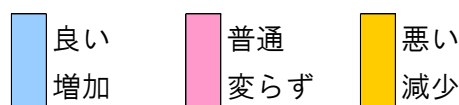


主要DI構成

○業況DI



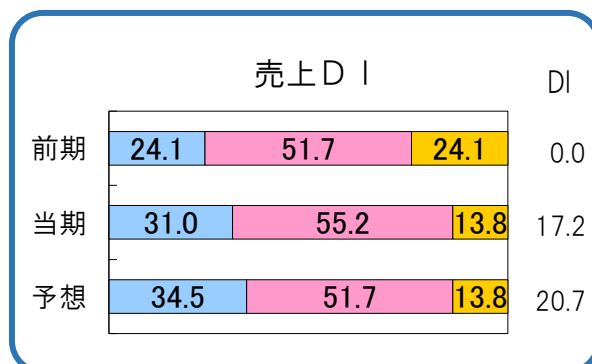
業況DIは、対前期比▲6.9ポイントの0.0（前年同期▲13.4・前回予想との差±0.0）の悪化となりました。今後の業況DIについては、対当期比±0.0ポイントの0.0と横這いを見込んでいます。



○売上DI



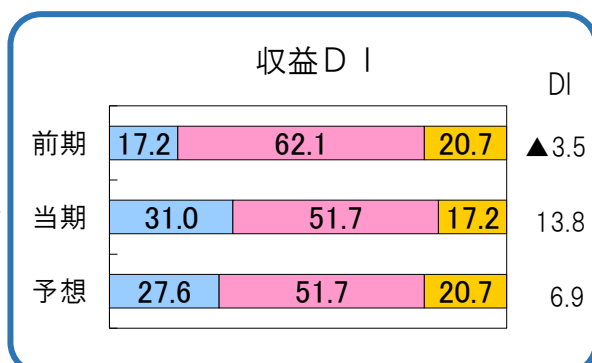
売上DIは、対前期比+17.2ポイントの17.2（前年同期▲10.0・前回予想との差+6.8）と大幅な改善となりました。今後の売上DIについては、対当期比+3.5ポイントの20.7と改善を見込んでいます。



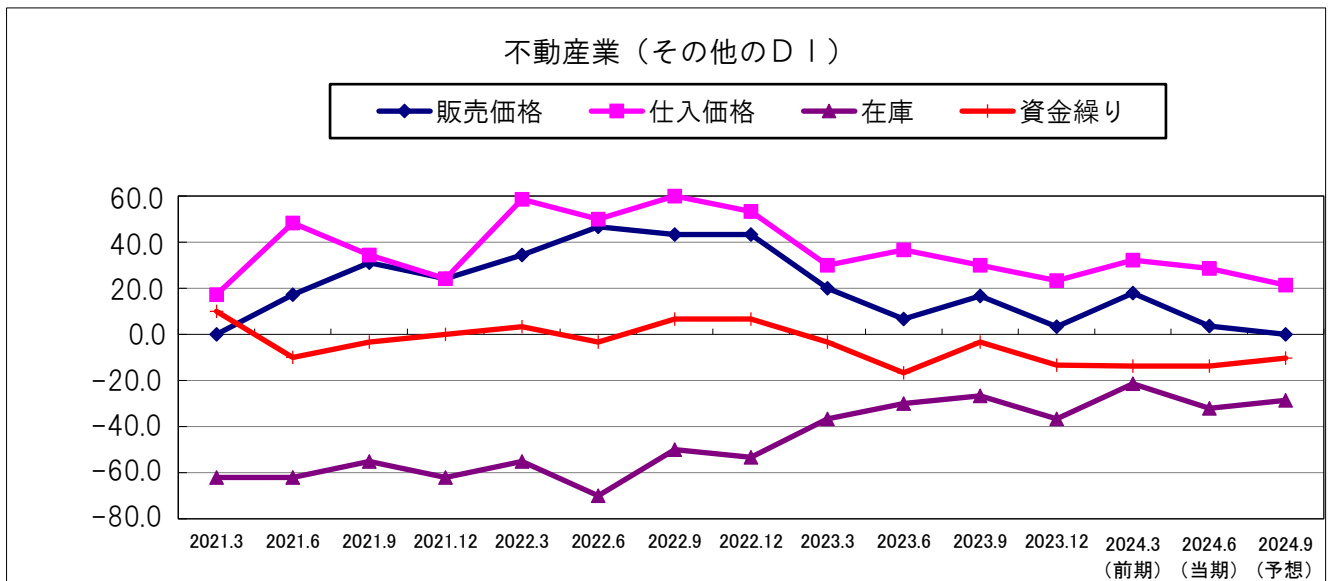
○収益DI



収益DIは、対前期比+17.3ポイントの13.8（前年同期10.0・前回予想との差+13.8）と大幅な改善となりました。今後の収益DIについては、対当期比▲6.9ポイントの6.9と悪化を見込んでいます。



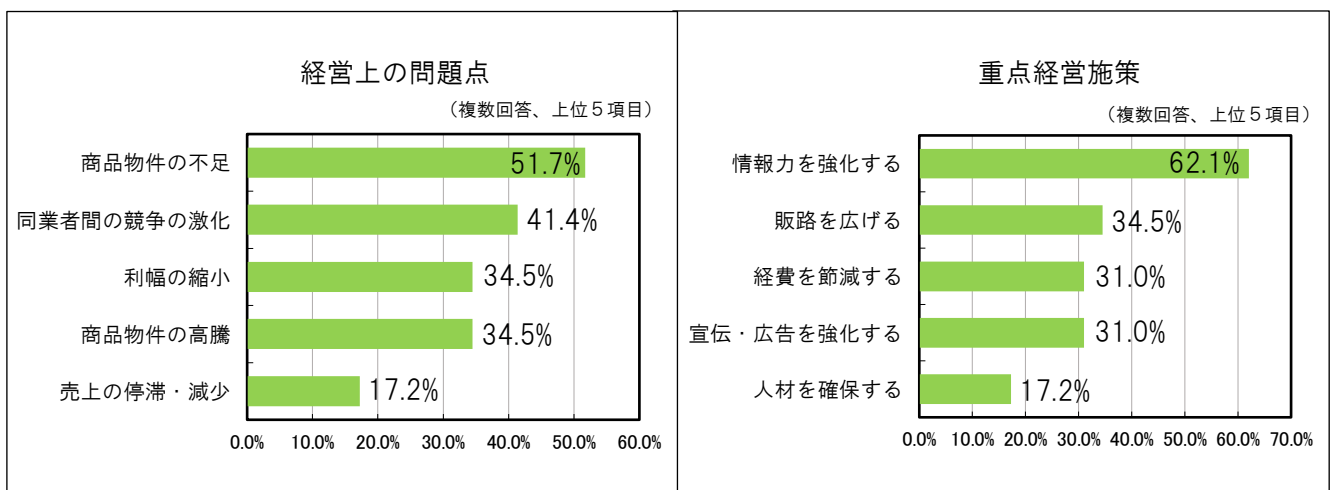
その他のD I 推移



○その他のD I

対前期比でみると、販売価格DIは▲14.3ポイントの3.6、仕入価格DIは▲3.5ポイントの28.6、在庫DIは▲10.7ポイントの▲32.1、資金繰りDIは±0.0ポイントの▲13.8となりました。今後は、在庫DI・資金繰りDIは上昇、販売価格DI・仕入価格DIは低下を見込んでいます。

経営課題・重点施策



【経営課題】

経営上の問題点として挙げられたのは「商品物件の不足」が51.7%と最も多く、次いで「同業者間の競争の激化」41.4%、「利幅の縮小」「商品物件の高騰」が共に34.5%、「売上の停滞・減少」17.2%となりました。

【重点施策】

当面の重点経営施策として挙げられたのは「情報力を強化する」が62.1%と最も多く、次いで「販路を広げる」34.5%、「経費を節減する」「宣伝・広告を強化する」が共に31.0%、「人材を確保する」17.2%となりました。

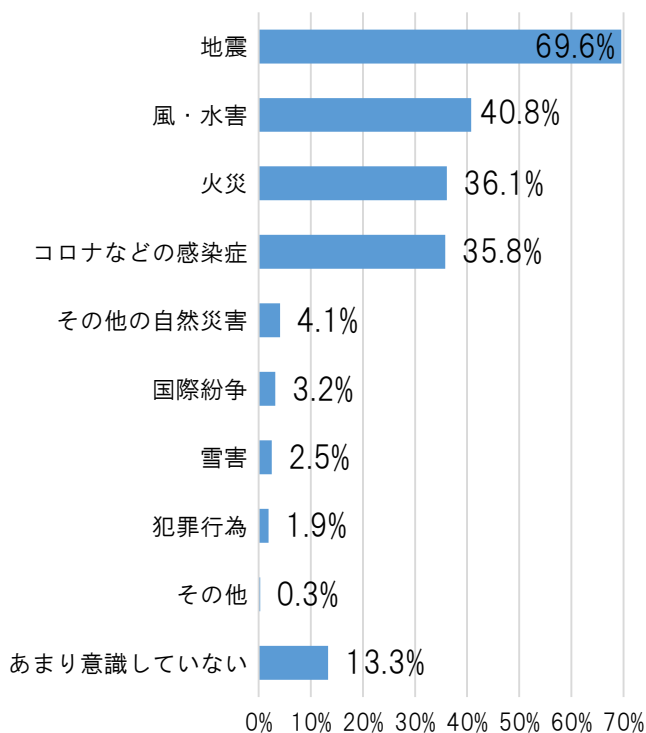
特別調査

中小企業における災害時の対応について

単位：(%)

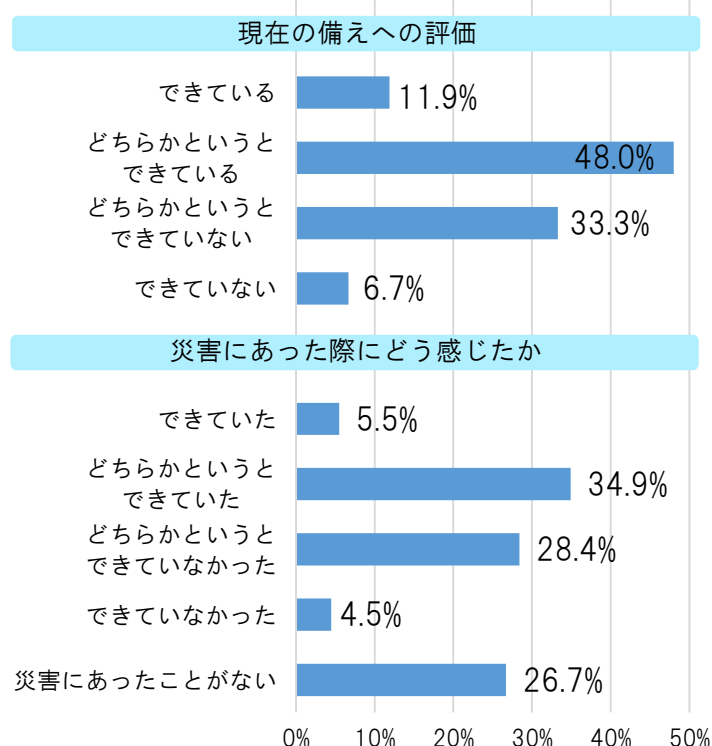
1

普段どのような災害を意識していますか
(最大3つまでの複数回答)



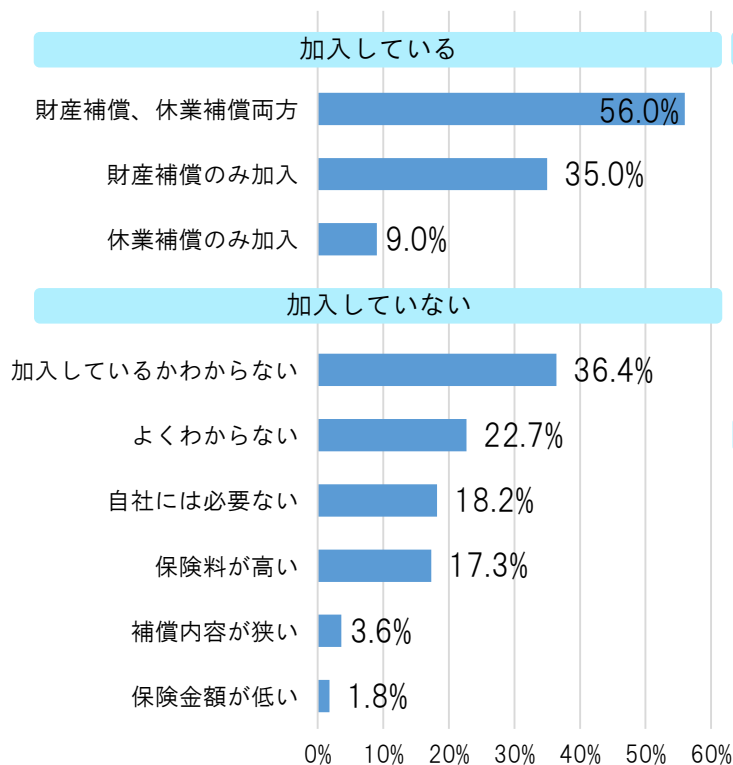
2

自社の災害への備えについての評価と災害
にあった際に感じたことをお答えください。



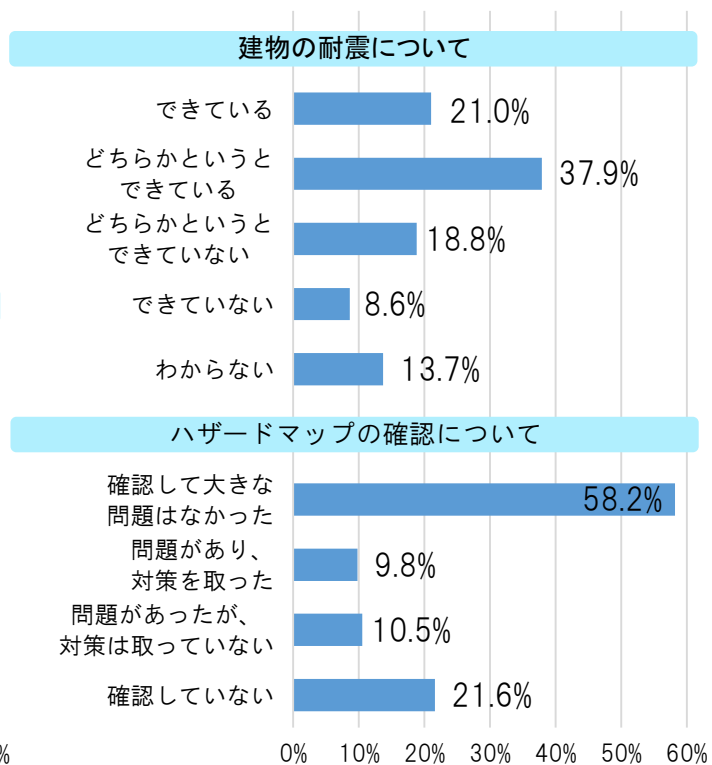
3

財産補償や休業補償といった事業継続にか
かる保険に加入していますか



4

建物の耐震やハザードマップの確認について
当てはまるものをお答えください。



平塚信用金庫 営業統括部

平塚市紅谷町11-19

(TEL 0463-24-3031)